

講義科目名称： 助産管理学特論

授業コード： 6630301400

英文科目名称： Advanced Midwifery Administration

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎常盤洋子、野口裕子、立木歌織、高田幸子、今村禎子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間			
	【担当教員】				
	【氏名】 ◎常盤 洋子 野口 裕子 高田 幸子 今村 禎子 立木 歌織	【所属】 新潟県立看護大学 同上 公立藤岡総合病院 舘出張佐藤病院 利根中央病院	【研究室】 320 209	【メールアドレス】 yotokiwa@niigata-cn.ac.jp yuko@niigata-cn.ac.jp	
	【大学の科目区分】 専門科目				
	【D P 1】 ○	【D P 2】 ◎	【D P 3】 ◎	【D P 4】 ◎	【D P 5】 ◎

到達目標	1. 助産管理、助産業務の概念を述べることができる。 2. 助産師及び助産業務に関連する法規と責任を述べることができる。 3. 病院・診療所、院内助産・助産師外来の助産管理・運営について述べるができる。 4. 助産所の管理・運営について述べるができる。 5. 助産業務における医療事故と安全、災害対策について述べるができる。 6. 助産師のキャリア発達について考えを述べるができる。
------	--

授業概要	助産ケアの質を保証するためのマネジメントとリーダーシップ理論、安全と質保証、関連法規、周産期医療システムと周産期のリスクマネジメント、災害に対する体制と管理について学び、助産管理の在り方を考察する。助産師外来・院内助産・助産院の立ち上げと管理、産科病棟および産科外来の管理の実践および災害時の助産管理について学修する。助産師のキャリアプラン、質の高い助産ケアを提供するための実践能力を育成する人材教育の立案と実践を学ぶ。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産業務管理の基本（1） 学修内容：助産業務の概念 備 考：常盤
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産業務管理の基本（2） 学修内容：助産管理の概念 備 考：常盤
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産業務管理の基本（3） 学修内容：助産業務管理の過程 備 考：常盤
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産サービスの質管理 学修内容：助産サービスの質管理の概念、助産と医療経済 備 考：常盤
	5	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：助産師および助産業務にかかわる法 学修内容：助産師および助産業務にかかわる法と責任 備 考：常盤
	6	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：助産師および助産業務にかかわる法 学修内容：助産師および助産業務にかかわる法と責任 備 考：常盤

	7	授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：周産期領域における医療事故・リスクマネジメント 学修内容：周産期領域における医療事故・リスクマネジメントと 助産師の役割 備 考：常盤
	8	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：周産期領域における医療事故・リスクマネジメント 学修内容：周産期領域における医療事故・リスクマネジメントと 助産師の役割 備 考：常盤
	9	授業内容 授業形態：講義 学修課題：病院・診療所、院内助産・助産師外来における助産管理 学修内容：助産師が行う安全対策と医療事故防止 備 考：今村・常盤
	10	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：看護部長の観点からとらえる組織の目標管理の設定と実践 学修内容：病院組織の目標管理の設定と実践 備 考：高田・常盤
	11	授業内容 授業形態：講義 学修課題：看護部長からとらえた助産師の活動への期待 学修内容：病院組織における助産師の活動への期待 備 考：高田・常盤
	12	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産所の業務管理 学修内容：助産所における業務管理 備 考：常盤
	13	授業内容 授業形態：講義 学修課題：災害リスクマネジメント 学修内容：災害リスクマネジメントと助産師活動 備 考：常盤
	14	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産師のキャリア発達 学修内容：助産師のキャリア発達－看護部教育担当師長の観点からとらえたスタッフ支援－ 備 考：立木・常盤
	15	授業内容 授業形態：講義 学修課題：助産師のキャリア発達 学修内容：助産師のキャリア発達－看護部教育担当師長の観点からとらえたスタッフ支援－ 備 考：立木・常盤
事前・事後学習	事前学修：授業内容について助産師の国家試験出題基準および助産師国家試験問題集を確認しながら主体的に学修する。周産期における医療事故についてはインターネットや報道記事を読んで助産師の業務管理について考える。 事後学修：授業内容を振り返り、助産管理・助産業務管理における助産師の役割を考える。	
評価方法、評価基準	到達目標の1～4に対して、筆記試験60%、到達目標2、4、5に対してプレゼンテーションとディスカッション40%によって評価する。	
テキスト	成田伸（責任監修）（2023）：助産師基礎教育テキスト2024年版 第3巻 助産サービス管理，日本看護協会出版会。	
参考図書・資料等	福井トシ子・井本寛子（編）（2023）：新版 助産師業務要覧 第4版 I 基礎編 2024年版。 福井トシ子・井本寛子（編）（2023）：新版 助産師業務要覧 第4版 II 実践編 2024年版。 福井トシ子・井本寛子（編）（2023）：新版 助産師業務要覧 第4版 III アドバンス編 2024年版。 公益社団法人日本助産師会（2021）：助産所開業マニュアル2021－解説・管理・運営－，日本助産師会出版。 助産業務ガイドライン（2019）：日本助産師会出版，2019。	
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡する。 プレゼンテーション資料は人数分コピーし、授業前に配布する。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。	
教員からのメッセージ	助産師の開業権、裁量権をふまえて助産管理学について主体的に学習してください。	
オフィスアワー	随時対応（メール調整）する。	